

パークレイズ・ピーエルシー

EBAの欧州銀行ストレステストに合格

パークレイズは10月26日、欧州銀行監督機構(EBA)が欧州の123の銀行を対象に実施した健全性審査(ストレステスト)の結果を公表したことに関連し、プレスリリースを発表しました。EBAが想定する悪化シナリオにおけるパークレイズのCRD IV移行ベースの推定普通株式 Tier1 (CET1)資本比率は他の欧州銀行と比較可能なベースで8.2%となり、パークレイズはEBAの欧州銀行ストレステストに合格しました。同シナリオにおけるパークレイズのプラデンス規制機構(PRA)のCRD IV移行ベースの推定 CET1 資本比率は7.1%でした。パークレイズの CET1 資本比率はいずれの計算方法でもEBAが定める最低基準の5.5%を上回りました。

EBAが発表したストレステストの結果は各行の自国の監督機関の定める方法に従い、CRD IV移行ベースで算出された CET1 資本比率に基づいています。英国の銀行の場合、CRD IV移行ベースの CET1 資本比率は最大の移行ベースを反映しています(「PRA移行ベースの CET1 資本比率」)。このため、より緩やかな移行ベースを採用している他の欧州諸国の銀行の CRD IV 移行ベースの CET1 資本比率と直接比較することはできません。

パークレイズは、完全施行ベースの連結 CET1 資本比率は2014年6月30日現在で9.9%と発表しました。完全施行ベースの CET1 資本比率を2015年に10.5%、2016年末までに11%超にすることを目指しています。パークレイズは2014年10月30日、完全施行ベースの CET1 資本比率を含め、2014年9月30日までの9ヵ月間の決算報告を発表します。

EBAの書式による英ポンド建ておよびユーロ建てのパークレイズのストレステストの結果は、www.barclays.com/barclays-investor-relations/investor-news.html でご覧いただけます。EBAは各行のストレステストの結果の比較可能性と整合性を改善するために開示用の標準書式を作成しました。これらの書式には、パークレイズの2013年12月31日時点のリスク調整後信用リスク・エクスポージャー、資産のタイプ、証券化エクスポージャーおよび市場リスクのリスク調整後資産、満期・国/地域別のソブリン債エクスポージャーの詳細が記載されています。

本件に関するお問い合わせ先

インベスター・リレーションズ

チャーリー・ローゼス

+44 (0) 20 7116 5752

メディア・リレーションズ

ジャイルズ・クルート

+44 (0) 20 7116 6132

注記:

EBAの想定悪化シナリオは2013年12月時点のパークレイズの連結貸借対照表および損益計算表に36ヵ月、EBA独自に定めた想定に基づきストレスを加えた先行きを見通したものです。

PRA移行ベースの比率では(のれん、繰延税金資産、減損に係る想定損失の余剰などを含む)いくつかの具体的な移行項目を完全に控除することが求められています。PRAの移行ベースと完全施行ベースの唯一の違いは売却可能資産にかかる収益の取扱いみです。

ストレステストで利用されている普通株式 Tier1 の定義は、資本要件規制(CRR: Capital Requirements Regulation)／改正資本要件指令(CRD IV: Capital Requirements Directive)の資本の定義に各国の当局によって導入されている、2013年12月、2014年12月、2015年12月、2016年12月のそれぞれの時点における移行時の調整を加えたものです。

バークレイズについて

バークレイズは、個人・法人向け銀行業務、クレジットカード、投資銀行業務、資産管理業務などさまざまな金融サービスを欧州、米州、アフリカ、アジアといった地域で展開している国際的な金融機関です。バークレイズは、人々が目標を実現できるよう、正しい方法で手助けをすることを目標としています。300年以上の歴史と銀行としての専門性を備えたバークレイズは、50カ国で約14万人もの従業員を擁しています。世界中のお客様に、為替、融資、投資、資産管理などのサービスを提供しています。より詳細な情報は、グループのウェブサイト www.barclays.com をご参照ください。

フォワード・ルッキング・ステートメント(将来の見込みに関して) (略)

本稿は、バークレイズ・グループが2014年10月26日に発表した英文、“Barclays announces Group Strategy Update”の日本語抄訳です。その正確な内容につきましては、原文である英文リリースをご参照ください。本稿と原文において齟齬がある場合には原文が優先します。リリース原文は <http://barclays.com/> のニュースセクションにてご覧いただけます。